

令和2年度病害虫防除技術情報（第3号）

和歌山県農作物病害虫防除所

トビイロウンカ、セジロウンカの飛来状況について

I. トビイロウンカ

1. 対象作物 水稻
2. 対象地域 県内全域
3. 飛来状況

6月上旬から7月中旬の予察灯によるトビイロウンカの誘殺数は、紀の川市12頭（平年0.7頭）、上富田町157頭（平年0.7頭）、那智勝浦町172頭（平年3.2頭）で、いずれも平年と比べて多く、坪枯れ被害（図1）が多発した前年と比べても多い。

表1 県内設置の予察灯によるトビイロウンカの誘殺数(頭)

		6月			7月	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
紀の川市	本年	0	0	0	4	8
	前年	0	0	1	0	1
	平年	0	0.1	0.1	0.1	0.4
上富田町	本年	0	2	4	143	8
	前年	0	0	0	1	2
	平年	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2
那智勝浦町	本年	0	2	2	126	42
	前年	1	0	9	1	2
	平年	0.1	0.2	1	0.9	1

4. 防除上の注意事項

- 1) トビイロウンカの発生量は地域間やほ場間で大きな差があるため、ほ場毎に発生状況を確認する。なお、同一ほ場内においても発生に偏りがあり局所的に多発することから、ほ場の全体をよく観察する必要がある。
- 2) 本種は増殖率が高いため、現在は低密度のほ場でも今後高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがある。定期的に発生状況を確認し、1株あたり5頭以上の成・幼虫を確認した場合は、速やかに薬剤防除を実施する。
- 3) 本種は株元に生息するので、薬液が株元に十分到達するように散布する。
- 4) 本種はイミダクロプリド剤に対する感受性の低下が認められているので、防除薬剤の選定に注意する。
- 5) 農薬については、（独）農林水産消費安全技術センター（FAMIC）の農薬登録情報提供システム（http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm）を参照し、適正に使用する。



図1: トビイロウンカによる坪枯れ被害(令和元年9月、和歌山市)

II. セジロウンカ

1. 対象作物 水稻
2. 対象地域 県内全域
3. 飛来状況

6月上旬から7月中旬の予察灯によるセジロウンカの誘殺数は、紀の川市 20 頭（平年 83.7 頭）、上富田町 499 頭（平年 82.3 頭）、那智勝浦町 182 頭（平年 87.9 頭）で、2 地点において平年と比べて多い。

表 2 県内設置の予察灯によるセジロウンカの誘殺数(頭)

		6月			7月	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
紀の川市	本年	0	0	0	15	5
	前年	1	0	0	0	4
	平年	0.2	29.9	29.2	12.9	11.5
上富田町	本年	0	2	16	346	117
	前年	1	0	4	0	6
	平年	1.4	0.1	30.1	21.2	6.5
那智勝浦町	本年	0	12	1	139	30
	前年	0	1	10	12	15
	平年	0.2	0.2	9.6	40.6	21.8

4. 防除上の注意事項

- 1) セジロウンカの発生量は地域間やほ場間で大きな差があるため、ほ場毎に発生状況を確認する。なお、同一ほ場内においても発生に偏りがあり局所的に多発することから、ほ場の全体をよく観察する必要がある。
- 2) 定期的にはほ場を確認し、1株あたり10頭以上の成・幼虫を確認した場合は、速やかに薬剤防除を実施する。
- 3) 本種はフィプロニル剤に対する感受性の低下が認められているので、防除薬剤の選定に注意する。
- 4) その他農薬の使用については、トビイロウンカの項に準ずる。

和歌山県農作物病虫害防除所
電話：0736(64)2300